

みんなで支える支え合う特コ・特担・通級担当の社交場

I 目的

令和6年度は、鯖丹地区特別支援研究部で、「みんなで支える支え合う特コ・特担・通級担当の社交場」として、本事業に応募し、全国大会に向けて取り組んできた「生活単元学習」、「特別支援コーディネーター」のテーマを軸に各研究グループの成果の共有することや、生活単元学習の研修を通して、若手の育成に貢献するなど、一定の効果は上げることができた。令和7年度は、約50名の鯖丹地区特別支援教育研究部の大きな団体としてではなく、初期のメンバーは15名程度とスケールは小さい自主研究団体であったが、若手教員の育成を主たる目標とし、若手の教員がより参加しやすいような小回りの利く鯖丹地区に関わる教員からはじまる新しい社交場事業として活動をリスタートすることにした。



福井県には、かつて全特連功労者表彰をいただいた故 小杉真一郎先生が企画運営をされていた T サポという会があった。T サポは、県内全域の先生を対象とした学びの場であった。2か月に一回程度、県内各地を会場としてめぐり、情報共有だけでなく、各テーマによるミニ講義もあり、各地区の課題に目を向け、解決するためのプランについて考えていく会であった。T サポに参加する中で県内の様々な先生方と出会い、各地区での特色ある取り組みを参考にできる大きな学びの場でもあった。「SEITAN からはじまる特支でつながる社交場」は、鯖丹地区に関係やゆかりのある先生方を対象とした学びの場ではあるが、少しでも他市町や他校種の先生方にも参加していただくことで、お互いに学び合えるかつての小杉真一郎先生が行っていた T サポの役割のような会に少しでも近づけるよう努力することで、新しく特別支援教育を担当される先生をはじめとして、他市町の先生も含め仲間をどんどん増やしていくことで地域の特別支援教育のリーダー育成、およびボトムアップに貢献を目指して活動することとした。この取り組みが、日々の実践や担任業務について情報共有できる持続可能なシステムとなるよう工夫していくことも大切な意義だとも考えている。

(※鯖丹地区とは、福井県鯖江市と丹生郡越前町の地区をまとめて表す際の略称)

II 活動概要

- 5~6月 ミニ講義+生活単元学習教材 My はたけ作り研修 (約 15 名) ※オンライン (3 回)
- 8月 1日 社交場ミーティング (県大会について) (8 名)
- 8月 23日 ミニ講義 評価について (講師 鯖江市豊小学校 島田千晶教頭)
情報共有、★本について、社交場文庫貸し出し (約 30 名 鯖丹部会とのコラボ)
- 10月 19日 「吉川ふれあい祭り」において鯖江市育友会 (特別支援学級保護者会) への出店協力
(保護者理解研修 約 20 名) 吉川公民館
- 10月 29日 学びたい分野の講演会、ワークショップの計画 (約 10 名)
- 2月 8日 コーチングのプチ学習会 AM: コーチングの基礎 PM: ケーススタディ
講師: TCS 認定プロフェッショナルコーチ 森 真紀子 氏
(約 30 名 社交場メンバー、全県の特別支援教育に関わる教員を対象に募集)
- 2月 22日 次年度の活動計画について (約 20 名) ※オンライン
- 3月 6日 ★本の活用、教材づくりについての研修会、社交場文庫貸し出し (10 名)
※随時、line グループにて情報共有、企画に向けての打ち合わせを行う。(約 30 名)

III 活動内容と成果

2年目の社交場は、先生方のやってみたいを形にすることをコンセプトに活動をスタートした。新しく特別支援学級の担任になった先生から教室のそばに畑がない学校でも子どもたちと一緒に野菜を育てたいという要望があった。中学校技術科の指導経験のある教員から収穫コンテナを用いた「マイはたけ」づくりを学び、生活単元学習の取り組みに活用した。土の量が多く、持ち上げて移動が可能なコンテナを用い、各校で野菜を育て、観察記録を付けたり、収穫した野菜で調理したりするなどの活動を行った。



秋には、昨年度に引き続き、鯖江市の特別支援学級保護者会「鯖江市育友会」の地域交流行事であるじゃがバター屋さん出店の参加協力を保護者理解の研修として位置づけることで若手教員の保護者と連携する力の育成をめざした活動を行った。長年、鯖江市で特別支援学級の担任をしている教員は、このような保護者と一緒に活動する行事を通じて、保護者や児童生徒とつながり、普段の学校での教育活動でも円満な雰囲気の中で教育活動を進めることができている。行事は、休日に開催される場合が多いので、若手の先生方にとっては、業務改善の観点からは、負担になるかもしれないという懸念があるのは確かである。しかし、保護者、児童、教員が円満な関係を作ることが、一番の業務改善につながると考え、若手教員には、このようなメリットを伝え、希望があれば参加していただいている。今年も、初めて鯖江市以外の教員も参加し、保護者や子どもたちと同じ目的に向かって活動し連携する中で深めていく、保護者理解の重要性について感じていただくことができた。

冬には、若手の先生のコーチングを学んでみたいという要望を学習会として実現した。県外から文科省などの研修にも携わっている TCS 認定プロフェッショナルコーチの森真紀子氏と2名のメンターの先生を招き、「コーチングのプチ学習会」としてコーチングの基礎 (AM) とケーススタディ (PM) の学習会を行った。社交場メンバーだけでなく、県内全域より30名の先生方が集まり、「正解を伝える力」より「安心して話せる場をつくる力」、「問題を解決する力」より「感情を扱える力」など、今、教育現場で求められているコミュニケーション力を学びながら、多様な角度からの事例対象児の問題解決に向けたケーススタディを行った。参加された先生の引出しを増やし、前向きな気持ちで帰っていただけるような素晴らしい学習会を実現することができた。また、かつての T サポの重要性をご理解くださり、新たに社交場の運営にご協力くださる先生にも出会うことができた。以下、参加された先生方のアンケートの集計結果である。



冬には、若手の先生のコーチングを学んでみたいという要望を学習会として実現した。県外から文科省などの研修にも携わっている TCS 認定プロフェッショナルコーチの森真紀子氏と2名のメンターの先生を招き、「コーチングのプチ学習会」としてコーチングの基礎 (AM) とケーススタディ (PM) の学習会を行った。社交場メンバーだけでなく、県内全域より30名の先生方が集まり、「正解を伝える力」より「安心して話せる場をつくる力」、「問題を解決する力」より「感情を扱える力」など、今、教育現場で求められているコミュニケーション力を学びながら、多様な角度からの事例対象児の問題解決に向けたケーススタディを行った。参加された先生の引出しを増やし、前向きな気持ちで帰っていただけるような素晴らしい学習会を実現することができた。また、かつての T サポの重要性をご理解くださり、新たに社交場の運営にご協力くださる先生にも出会うことができた。以下、参加された先生方のアンケートの集計結果である。

冬には、若手の先生のコーチングを学んでみたいという要望を学習会として実現した。県外から文科省などの研修にも携わっている TCS 認定プロフェッショナルコーチの森真紀子氏と2名のメンターの先生を招き、「コーチングのプチ学習会」としてコーチングの基礎 (AM) とケーススタディ (PM) の学習会を行った。社交場メンバーだけでなく、県内全域より30名の先生方が集まり、「正解を伝える力」より「安心して話せる場をつくる力」、「問題を解決する力」より「感情を扱える力」など、今、教育現場で求められているコミュニケーション力を学びながら、多様な角度からの事例対象児の問題解決に向けたケーススタディを行った。参加された先生の引出しを増やし、前向きな気持ちで帰っていただけるような素晴らしい学習会を実現することができた。また、かつての T サポの重要性をご理解くださり、新たに社交場の運営にご協力くださる先生にも出会うことができた。以下、参加された先生方のアンケートの集計結果である。



冬には、若手の先生のコーチングを学んでみたいという要望を学習会として実現した。県外から文科省などの研修にも携わっている TCS 認定プロフェッショナルコーチの森真紀子氏と2名のメンターの先生を招き、「コーチングのプチ学習会」としてコーチングの基礎 (AM) とケーススタディ (PM) の学習会を行った。社交場メンバーだけでなく、県内全域より30名の先生方が集まり、「正解を伝える力」より「安心して話せる場をつくる力」、「問題を解決する力」より「感情を扱える力」など、今、教育現場で求められているコミュニケーション力を学びながら、多様な角度からの事例対象児の問題解決に向けたケーススタディを行った。参加された先生の引出しを増やし、前向きな気持ちで帰っていただけるような素晴らしい学習会を実現することができた。また、かつての T サポの重要性をご理解くださり、新たに社交場の運営にご協力くださる先生にも出会うことができた。以下、参加された先生方のアンケートの集計結果である。

1. 参加者 約30名 (アンケート回答者22名)

2. 参加者所属

(鯖丹地区)

鯖江市借陰小学校 鯖江市北中山小学校 鯖江市神明小学校 鯖江市進徳小学校 鯖江市立待小学校

鯖江市豊小学校

(鯖丹地区以外)

福井市進明中学校 福井市社北小学校 福井市木田小学校 坂井市立大関小学校 池田町立池田小学校
敦賀市中央小学校 大野市開成中学校 永平寺町立上志比小学校 坂井市立高椋小学校
福井県立福井南特別支援学校 福井大学教育学部附属特別支援学校 県外施設（富山県からのメンター）

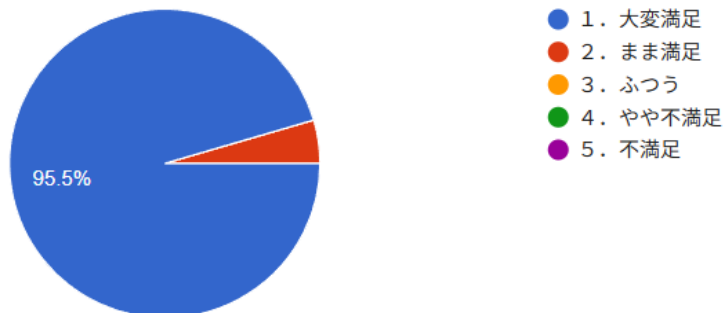
3. 参加したコースについて

22 件の回答



4. 今日の満足度を教えてください。

22 件の回答



5. 本日の学習会の感想やこれから役立ちそうだと思うことがありましたらご記入をお願いします。

(22 件の回答)

- ・コーチングでよくないとされる行動をたくさんとってきたことに気付きました。今までにうまくいかなかったことに対して、新しい視点から解決するアイデアをもつことができたので、早速実践していこうと思います。ありがとうございました。
- ・コーチングとは、違う問いかけをしてあげるということになるほどと思いました。すっきりしなくてもいいというのも安心しました。
- ・視点を増やす、自己決定ができるようにすることの大切さをおそわったので、子どもたちに是非実践していきたい。
- ・コーチングとはどんなものか、何もわからなかったので、学習できて良かったです。人の話の聴き方や、話してもらえる雰囲気作りを今後、考えていきたいと思います。
- ・コミュニケーションは日々大事なことで感じているのですが、今回はコーチングという観点から勉強させていただき、自分自身の子どもや保護者との関わり方を振り返ることができたり、大事なポイントを改めて学んだりすることができてよかった。
- ・子どもだけでなく同僚にも聴くときのポイントやアドバイスしないを意識して関わっていきたいと思いまし

- た。そして、まだまだ自己理解は深めていく必要があるなと感じました。ありがとうございました。アドバイスではなく、子どもが自分で考えた、頑張ったと思えるような関わりにすることが大事だと分かりました。
- ・コーチングはアドバイスしないこと。本人の後ろから背中を押して、自己決定ができるよう支援すること。児童や保護者と向き合う時の聴く姿勢について顔をおもいうかべながら考えることができました。問題を解決する力よりも感情を扱える力へというのは子どもに対しての学級経営でも言えることだと思いました。目から鱗のお話がたくさんあり、有意義な時間でした。お世話いただいた山本先生ありがとうございました。
 - ・非常に学び多い時間になりました。ありがとうございました。
 - ・コーチングの始めのステップとして自己理解が大切ということ。1次感情の理解を大切にすること。
 - ・コーチングについての理解が深まりました。また、事例を通して話げできたこと、ロールプレイで実践できたことよかったです。
 - ・夏にカウンセリングの研修も受けたのですが、傾聴の大切さを知り、今回はさらに、なぜ傾聴が大事なのかを改めて学ばせてもらいました。教師は教え導くのではなく、後ろから見守る、安心感を与える存在にならないといけないのだなと、もっと早く知れたらよかったなあ、でも明日から実践できるなあと思いました。午後のケーススタディで事例を出させてもらいました。「これまで思いも気づきもしなかったなあ」とか、「深く考えていなかったなあ」とか、「校内での相談では出てこなかったなあ」などと、はっとする「視点」が先生方から次々と出てきて、とてもありがたかったです。たくさんの気づきをもらえました。コーチングのルールや大事なポイントを常に意識して子どもたちと関わっていきたいです。
 - ・目標を持たせるのに、ついこちら側の意図を優先してしまいがちになります。やはり、自己理解あつての目標設定。子どもが主体的に目標を設定し、主体的な学びとなるよう努めようと思えました。
 - ・今回、参加させていただき本当にありがとうございました。コーチングを学び続けてはいますが、森先生の話を書いたり、みなさんとお話したりすることで、自分自身と向き合うことができ、改めて自己対話の大切さを実感することができました。先生方のお子さんへの思いが伝わってきて、一緒に考えたい内容でした。たくさんの視点をいただきました。子どもの立場から、保護者の立場から、教員の立場からなど、いろいろな角度からお子さんをみることで、支援方法の選択肢が増えると思いました。視点を増やすためには、私たち支援者の心の状態が良くないと、周りの声に耳を傾けることもより良い支援もできないと思うので、まずは自分の状態を整え、子どもたちに関わっていきたいと思います。
 - ・講師の先生の説明もわかりやすく、聞いていてワクワクしました。また普段関わらない特支の先生方とたくさんお話ができてよかったです。自分の新たな発見にもつながりました。
 - ・新任校長研修でコーチングについてお話を伺いました。その時も、自分に足りないスキルや考え方について気づき、反省しました。そこで、コーチングについてもっと学びたいと感じていたので、今回の学習会は貴重な学びの機会になりました。自分を見つめるワークを通して、先生方と共有していく時間に安心感を得ました。先生方との関係づくりにおいても、コミュニケーションを大切にしながら、先生方の能力を引き出せるよう努力したいです。
 - ・答えを出さず、アドバイスせず、相手が自分で考えられるように支援することを先生のお話はもちろん、参加されているみなさんのご意見を聞くことができ大変有意義な時間を過ごすことができました。企業でも教育の場でも共通する事が多く、人間関係、相手との関わりについての悩みや対処法 など、勉強になりました。挨拶プラス一言、笑顔で接するなど基本的なことですがこれからも実践していきます。ありがとうございました。
 - ・コーチングについてじっくり学ぶことができ、とてもよかったです。また、ケーススタディも大変勉強になりました。ありがとうございます。

6.次年度も社交場が全特連より補助金をいただけた場合、どのような学習会なら参加してみたいですか。

(10 件の回答)

- ・本日の学習会から、更に踏み込んだ内容が学べると嬉しいです。
- ・今回のコーチングのような、実践型研修が可能なら参加したいです。
- ・今回のような、ワークショップの形だとありがたいです。企画してくださってありがとうございます。
- ・今日みたいな自分を広げる研修。お互いの悩みを徹底的に解決するまで話し合うワークショップ
- ・ウェルビーイングについて
- ・広い視野で特別支援教育について考えを深められる学習会
- ・今回みたいにロールプレイを取り入れたり、事例に対してのディスカッションをしたりしてみたいです。
- ・児童生徒向けのソーシャルスキルトレーニングの方法等。
- ・今回のコーチング研修を希望します。
- ・カウンセリング、不登校、依存症など、生徒とのかかわり方

7.社交場に所属している方にお聞きします。

他地区や他校種の方と情報共有の機会を持てていかがでしたか。(7 件の回答)

- ・普通に生活している中だと他地域の情報は入ってこないもので、学習しつつぎっくばらんに話しながら情報を集められる場は貴重でありがたいと思いました。
- ・他地区や他校種の方だと、さまざま考え方があったことが分かってとても学ぶことが多かったです。があるのでいろいろな校種の先生方とお話できてよかったです。みなさんのはまっておられることをお聞きできたのもよかったです。
- ・是非とも全県を巻き込んだ活動も入れていくことは良いことだと思います。
- ・U 先生が元特別支援教育センターの方でたいへん参考になりました。研修していただきたいくらいでした。
- ・事例として、私が関わっている児童について、市内の先生だけでなく市外の先生方や違う校種の先生方、そして学校とは違う立場の富山県のお二人からもいろいろな「視点」をいただけて、なかなかない機会に恵まれたこと、感謝します。今回の研修を終えて、これからもこのような機会があるとよいなあと強く思いました。
- ・県外から参加させていただきましたが、今回のようなコーチングを取り入れた勉強会や他地区、他校種の方との情報交換は視点が増えるし、自分の支援を振り返る貴重な機会になると思いました。

8.社交場に所属していない方にお聞きします。

他地区や他校種の方と情報共有の機会を持てていかがでしたか。(13 件の回答)

- ・以前より区内であっても話をする機会が減っています。今回のような新たな学びもあり、それに混じえながら日頃の悩みを話したり、思いを聴き合ったりするのは、大変有意義だと感じました。
- ・コーチングのような内容の時は、いろいろな立場の人からの話が聞けるのは、良いのではないかと思います。
- ・他地区の先生方とお話できて、つながりをもつことができよかったです。社交場のラインにグループに参加したいです。
- ・とてもためになり、新たな学びがあった。もっと参加したい。
- ・学校も経験も全然違う先生たちの話が聞けてよかったです。

- ・情報共有の場が持てて楽しかったです。
- ・市町を超えて繋がれること、大変貴重です！特別支援教育の人材育成、大きな課題です。特別支援から発信していきましょう！
- ・参加してよかったです。仕事だけでなく、我が子に関わる時にも必要な視点を学ばせてもらえました。他校の先生たちとも繋がれるのはありがたいです。若い先生たちが来られていたのもよかったですし、すごいなと思いました。誘っていただきありがとうございます。
- ・校種は違えど、悩んでいることは同じなのだと、共感していただけて嬉しかったです。
- ・自分の悩みが軽くなりました。またぜひ参加させていただきたいと思います。
- ・他地区・校種・異業種・年齢を越えて、お話ができました。6年目の先生が「この仕事が、とても楽しい。」とお話されていました。そういうお話も聞くことができた有意義な時間でした。
- ・いろいろな立場や考え方の方と話せて楽しいだけでなく、励まされました。
- ・他地区や他校種の先生方とお話しができたことで、様々な話や悩みを相談できる場となり繋がりが持てたことがありがたかったです。

IV 取り組みを終えて

鯖丹地区から始まった社交場の意義に共感され、少しずつ学びの輪が県内に広まりつつある。次年度は、他地区の先生方と協力しながら魅力ある学習会を企画することで学びの輪を広げることを目指し、質の高い教員集団の実現に貢献していきたいと思う。また、全県をあげた取り組みの中で社交場の仲間を増やし、外からアプローチしていく中で鯖丹地区の仲間を更に増やしていくことを目指し、鯖地区の特別支援に関わる先生方のリーダー育成、およびボトムアップの一助になればと思う。

【社交場文庫の活用について】

定期的な社交場ミーティングの際、社交場の予算で購入した書籍や教材、教材作成の際に使うラミネーターなどを社交場文庫として貸し出しを行い、先生方の日頃の学びに活用させていただいている。

